



CONTENTS

2・3面

入学式特集
学長式辞 理事長祝辞
在校生代表・歓迎の言葉
新入生代表・私の抱負

4・5面

新年度を迎えて新入生、在校生を激励
学部長、学生部長、情報センター長
渡辺 忠教授(初代学生部長)が死去
退任教員あいさつ(赤木教授)
新任教員紹介2人 湧源
現代GP・平成20年度の取り組み

6・7面

平成20年度主な就職先一覧
学内で合同企業説明会
留学体験学生が国際交流フェア
派遣留学・夏期セミナー帰国報告会

8面

47人に資格取得奨学金を授与

オープンキャンパス案内

平成22年度入試概要・奨学金制度

9面～12面

平成20年度卒業式特集
卒業生思い出ひとりごと
JABEE認定21人に修了証書
12人を特別表彰

平成21年度入学生 おめでとう

学び、考え、また学び 飛翔の舞台に立とう

平成21年度の入学式が4月4日、本校体育館で行われ、新入生316人(情報文化学科125人、情報システム学科191人)が大きな希望に胸を膨らませ、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

一人ひとり名前を呼ばれ緊張の面持ちで起立した新入生を前に、平山征夫学長が式辞で「本学を舞台に選んだ皆さんが主役です。自由に思いつき踊れる舞台を用意します。自立した人間として飛翔するために、学び、考え、また学ぶことを繰り返して、考える力を身につけてください」と激励しました。

引き続き武藤輝一理事長が「青春真っただ中の実り多き学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持つた社会人に成長することを期待しています」と祝辞を贈りました。

新入生たちは、ほころび始めた校庭の桜の下で各サークルの勧誘攻めに合い、早速ガイダンスに臨んで学園生活の一歩踏み出していました。

入学式

学長式辞

新潟国際情報大学長
平山 征夫

考える力を身に付け

夢を大きく描き育てよ

新入生の皆さん、入学おめでとう。本学への入学をお祝い申しあげますとともに、皆さまを心から歓迎申しあげます。

新潟国際情報大学は本日ここに第16回目の入学式を迎え、今年も皆さんのような激励とした新入生を迎えることができましたことは、私ども本学関係者・教職員にとりまして何よりの喜びであります。

今日のこの式を新入生の皆さんに大きな喜びで迎えられたことでしょう。その喜びはご同席のご父母の皆さんにとりましても同様のことと存じます。そして皆さんに、この大学生活に対する期待で胸がいっぱいのことと思います。本学の役員・教職員一同、皆期待に応えるべく全力でこれから皆さんの大學生生活を支援してまいります。

本年、本学に入学された皆さんには、情報文化学科125名、情報システム学科191名、合わせて316名です。本学では平成6年春の開学以来、15年間で3532名の卒業生を社会に送り出しました。卒業生の多くは新潟県内を中心して実社会で活躍中であります。それは本学の創立の理念であります「わが国の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、

能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」という目的が果たされつつあることでもあると喜んでおります。

昨年、本学の大学祭の講演にこられた作家の宮尾登美子さんは、私に「若々しい大学の若々しい学長さん、がんばれ」という言葉を残してくれました。私が若いかどうかは宮尾さんとの相対的な関係ですが、創立16年といふ本学が若いことは間違いないことです。それは、この大学の伝統はまだ創り上げている途上にあるということです。どうかこれまで先輩たちが築いてきた良き伝統を引き継ぎ、さらにこれに磨きをかけてください。

皆さんは大学という高等教育を受ける場を本学に定められたわけです。それは本学の開学の理念に賛同し、何らかの魅力を感じて選ばれていますが、同時にそれは自らが自立に向かって踊るステージを選んだという

学校法人 新潟平成学院理事長
武藤 輝一祝
辞青春真っただ中を謳歌
実り多き学園生活を

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

本日は元気激励として前途有為の316名の皆さんを目の前に、新潟国際情報大学の設置母体であります新潟平成学院の理事・評議

員を代表して、心からお祝い申し上げます。青春の特徴は、「優れた想像力、逞しき意志、燃える情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒險心」にあるといわれていますが、青春の真っただ中にいる皆さんには、ぜひひとつの特徴を生かして、本学における実り多き学生生活をしてください。

同時に、大学を卒業して一社会人として卒立つ前の在学中に「自ら求め、自ら行動し、自らの行動に責任を持つ」という自主性、自律性をしっかりと身につけてほしいのです。

人生はまさに戻ることのない片道切符の旅であります。これから的一日一日を大切に、精いっぱい羽ばたいて、悔いのない充実した学生生活を送ってください。

皆さんに勉学に勤しみ、学生生活を謳歌し、人間性豊かで温かい心を持つ社会人に成長されますよう心から期待し、皆さんのが國の社会、文化についての認識と理解を基礎に、国際化、情報化の社会の中で役立ち、

ことあります。どう踊るか先生方のアドバイスを受けながら皆さん自身が学びながら決めるのです。そのことをまず自覚してください。踊り方も高校までと違つて、お師匠の踊り方を見て真似をするという学びの段階から、自分にしかない踊りを考え始めるのが大学です。それは自立のための飛翔する力を身につけることです。そのためには、大いに勉強してください。大学時代に学んだことは、必ず人生のどこかで幾つになつても飛び力として役立ちます。

私自身のことで恐縮ですが、私は第1志望の大学受験に失敗して、第2志望の大学に進みました。父は浪人しても良いと言つてくれましたが、私は大学で学べることがうれしく、受験勉強を続けるより早く自分の好きな事を学びたいと思い、浪人はしませんでした。選んだ舞台は希望と違つたのですが、結果はそのことは全く問題ではありませんでした。むしろ生涯の師に巡り逢えましたし、選んだ経済学も興味深いものでした。高校までと全く違つた学問の世界に夢中になつて勉強

しました。その時学んだことが、その後私の人生の基礎としていつも支えてくれたことを知事を退任して初めて自覚しました。大切なことはどう学ぶかなのです。

舞台を本学に選んだ皆さんに、私ども教職員は最大限皆さんに自由に思い切り踊れる舞台を用意します。演出も照明も音楽も提供します。でも舞台で踊る主役は皆さんです。他人にはない自分しかできない舞を踊るための心構え、準備をしてください。

1980年代以降、世界の仕組みとなつていた市場経済は、金融資本主義の行き過ぎからバブルを生み、そしてはじけました。グローバル化で一つになつた世界経済は、情報手段を駆使したヘッジファンドなど利益を求めて動きまわるマネーにより、サブプライムローン問題をきっかけにその根底を揺るがしかねない状況に遭遇してしまいました。我々はあらためて「儲けるためではなく、人間を幸福にするための資本主義」を求めていかなければならぬところにいます。そのうえ、近年の地球規模の成長志向は、温暖化などの地球環境問題を深刻化させています。

皆さんはこうした時代をこれから生き抜いていくわけです。それは決して生きやすい時代ではないでしょう。複雑・深刻化する現代のさまざまな課題をきちんと捉え、自らの考え方で判断し、自己責任の下で行動しなくてはなりません。問題を適確に捉え、正しいジャッジをするにはどうしたらよいでしょうか。私の経験で申し上げれば、事柄の本質を見極め正しい答えを見出す「考える力」を身に付けるしかありません。

こうした「考える力」を身に付けるためには、大学時代にきちんと学ぶことが大切です。皆さんのが大学時代にしなければならない最も重要なことは学ぶことです。社会人になると、「自立した人間」として考える力がこの大学で整えてください。それには専門的分野の深い知識とともに、幅広い知識を習得し、考える訓練を積み重ねてください。考える力は「学び、考え、また学ぶ」ことの繰り返しから身に付きます。この大学で大いに学び、考えてください。

今日から何事にも自らの意志を持つて、自らの考え方自らの意見を持ち、発言・行動してください。もちろん他の人の意見に耳を傾け、自らの意見と比較することも大切です。自己の確立と他の人のとの協調を調和させることが大切だからです。

そして、大学生時代は人生の「夢」を描く「青春」の時です。青春時代に描いた夢は人を大きく育ててくれます。しかしそれは、その夢に向かって最大限努力をするという前提があることを忘れてはなりません。

この大学でよき親友を得て、勉学だけなくスポーツや文化などの俱楽部活動に青春を燃焼してください。青春を思い切り燃焼させることは、それが楽しいことであるばかりで

はなく、人間性形成にどんなに大きな意味があるか、自立するにつれ自覚するでしょう。私は学長として「この大学で人生で最も大切なことを学ぶことができた」と卒業後振り返ることは、それが楽しいことであるばかりで



歓迎の言葉

在学生代表 情報システム学科3年
岩城 売利

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。またご臨席いただきました多数のご父母の皆さん、おめでとうございます。皆さんの入学を、在学生一同、心から歓迎いたします。

本学は、情報社会を先導しました国・地域・そして文化の違いを尊重し、国や地域を越えて人類の共生、共生に貢献するという教育理念のもとに、学生は学問、部活動、サークル

た時、思つてもらえるような大学にしたいと念願しています。それには皆さんの大学生活での積極的参加がその必要条件です。どうかそのためにも遠慮せらずどしどと先生方にぶつかっていいつください。私もいつも皆さんの方を向いて両手を広げて待っています。

弥彦を望む越後平野の真っただ中にあるこのキャンパスで、皆さんは豊かな自然の四季の変化に包まれて過ごすことででしょう。そのことは、他人を思いやる人間性を育む大きな力になるでしょう。人間が自然の中で生かされていることと、ご父母をはじめ多くの方たちが皆さんを支えてくれていることに謙虚に感謝しながら、大学生活を大いにエンジョイしてください。

勉学にいそしみ、学生生活を謳歌し、人間として成長されますよう心より期待し、私の皆さんへの歓迎の言葉といたします。

活動に積極的に参加し充実した大学生活を送っています。

皆さんは今日から始まる大学生活に、期待や不安などさまざま思いを抱かれていることと思います。私もその一人でした。今でも、昨日のことのように思えます。

皆さんは大学に何を期待していますか？

先進分野の研究、尊敬できる師との出会い、また心から信頼し合える友人との出会い、そして明るく楽しいキャンパスライフ。そのすべてが本学にはあります。

そこで皆さんはこれから4年間の大学生活を送られるわけですが、私は大学生活とは自己の判断で大きく左右されるものだと2年間の大学生活で実感しました。

ただ座して待つことですが、私は大学生活とは自ら行動して得たものより少ないのです。ぜひ皆さんには自ら能動的に動き、より多くのことを学び得ていただきたい。そしてこれからの人間パースペクティブの良し悪しは皆さんの姿勢次第で決まる、ということを忘れないでください。

ただ座して待つことなく多くのことを学び楽しもう

新入生の皆さん、入学おめでとうございました。またご臨席いただきました多数のご父母の皆さん、おめでとうございます。皆さんの入学を、在学生一同、心から歓迎いたします。

本学は、情報社会を先導しました国・地域・そして文化の違いを尊重し、国や地域を越えて人類の共生、共生に貢献するという教育理念のもとに、学生は学問、部活動、サークル

私は皆さんに、これから学生生活の中で身に付けていただきたいことが三つあります。

第1は先に述べた自分自身で考え方事を判断することです。大学は社会という嵐の前にあって、これから皆さんにとつて大きな糧となることでしょう。

第2は、豊かな人間性を身に付けることです。近年叫ばれているモラルの低下は人間性の欠如によるところが大きいのではないかとも思っています。常に他人を気遣い、思いやり、何事にも素直な人物になつてほしいと思います。

私の抱負



新入生代表 情報文化学科
菅井 光代

本日は、私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙行していただき、また激励の言葉をいただきありがとうございます。

世界を学び語学力を磨き人間としても成長したい

現在、世界はますますグローバル化が進み、国際間のかかわりが強くなつたことで、他国からの影響を受けやすくなつてしましました。最近では、アメリカから起きた金融情勢の悪化が、世界中の経済不況を引き起しています。この不況は、いかに世界中の国が密接につながっているのかということを認識させてくれたのではないかと思います。そして、国同士の結びつきはこれからもっと重要なこと

第3は、自分自身をきちんと管理することです。大学は、高校とは違う、さまざまな面で自由に決められることが多いのです。それは必ずしもメリットだけであるとは限りません。自己管理をしつかりして勉学にいそしみ、気晴らしに友達と遊ぶ、これが大学生活を充実したものにする一番の近道だと思います。

最後になりましたが、今日、皆さんのが本学に入学されたことを心から祝い、またこれからも大学生活が皆さんにとつて充実し楽しいものになることを願つて、歓迎の言葉とさせていただきます。

ようこそ、新潟国際情報大学へ！

しかし、私は今、国際問題についての情報や知識がなく、世界というものも漠然としたイメージしかありません。ですから、本学の充実した教育環境の中で、国際問題について学んでいきたいと思っています。特に、英語は以前から興味があつたので、CEP等の授業が楽しみです。2年次後期の派遣留学もとても興味があるので、まずこの1年間でしっかりと語学力を磨き、留学によって自分の力を試したいと考えています。

また、本学で過ごす4年間では、何事にも積極的に取り組み、勉強面だけでなく、さまざまな活動に参加し、人間としても成長できるように精進していきたいと思います。

最後に、経験豊かな先生方からのご指導をいただき、常に学び続けることをお誓いし、私の抱負とさせていただきます。

祝電

新潟県知事
新潟市長
日本私立大学協会会長
セコム上信越（株）
代表取締役副会長
(株)リクルート
代表取締役社長
柏木 齊

2009年度を
迎えて

最善のキャンパスライフに

情報文化学部長

情報システム学科 教授

榎木 公一



新入生の皆
さん、入学お
めでとうござ
います。これ
から4年間

の第一歩として、もう一度気持ちを
新たにして「何のために大学に行く
のか」、すなわち「大学で学ぶ」意
義についてしっかりと考えていただ
きたいと思います。

もちろん、皆さんそれぞれの価値
観は異なりますから、その答えは一
つとは限りません。授業に出て必要
な単位をきちんと取ることも大切で
すし、スポーツや課外活動に打ち込
むことも大切です。その間にぜひ、
知識的興味や好奇心が持てる対象や分

野を見つけて出します。最善の努力をし
てください。当然ながら、大学4年
間ではその対象や分野に関するすべ
ての知識やスキルを身につけること
は、社会に出ても飛び跳ねる姿勢す
なわち「学びの姿勢」が求められます。

皆さんには若さの特権である可能
性と時間があります。でも、目的もなく
無為に貴重な大学時代を浪費するよ
うなことなく、皆さん自身が納得の
いく学生生活を送られることを願つ
ています。

これが本学の広報は、個別の案件ごとに
その都度対応していく「対応型広報」の手法
をとり、広報はいつどこで何があるといった
ことを伝える「告知広告」が主体であった。
しかし、こうした手法では大学として肝心な
部分——何が学べ、何が身につくのか、大学
の雰囲気はどうなのか、さらに将来の自分は
——といったことが伝わりにくいためでなく、
私は考えます。

国際化や情報化の分野に限らず、
一瞬たりとも留まることなく変化し
続いている社会環境や情勢、知識や
技術に対応して生きしていくために

野を見つけて出します。最善の努力をし
てください。当然ながら、大学4年
間ではその対象や分野に関するすべ
ての知識やスキルを身につけること
は、社会に出ても飛び跳ねる姿勢す
なわち「学びの姿勢」が求められます。

皆さんには若さの特権である可能
性と時間があります。でも、目的もなく
無為に貴重な大学時代を浪費するよ
うなことなく、皆さん自身が納得の
いく学生生活を送られることを願つ
ています。

これが本学の広報は、個別の案件ごとに
その都度対応していく「対応型広報」の手法
をとり、広報はいつどこで何があるといった
ことを伝える「告知広告」が主体であった。
しかし、こうした手法では大学として肝心な
部分——何が学べ、何が身につくのか、大学
の雰囲気はどうなのか、さらに将来の自分は
——といったことが伝わりにくいためでなく、
私は考えます。

「学びの姿勢」が求められる

学生部長



情報文化学部 教授
高橋 正樹

部長および学
生部の仕事を
簡単にお話し
ましよう。本
学においては、その主な仕事は学生
の皆さんのお手伝いです。課外活動支援
や、学生の福利厚生など生活一般に
ついての環境整備をするところで

お話ししたいことはたくさんあります。
ですが、その観点から、一つだけお
話ししましょう。

それは大学時代に、ぜひとも「課
外活動」に励んでくださいといっこと
です。もちろん、勉学に励んでも
らうのは当然ですが、勉強の合間に
スポーツ部、文化部、学術研究部や

十分に学びえない、直接の社会体験
の機会を与え、多数の人との関係を
営む方法を身につけてくれるで
しょう。知識ばかりではなく、それを
使う力が社会では大切になります。

人は社会の中でしか生きていけな
い生き物ですから、社会の中で發揮
する力をつけることは大学時代の重
要な目的のひとつです。それはみな
さんが社会に適応するためばかりで
なく、より良い社会にしていくた
めにも必要なものです。

課外活動に励んでください

情報センター長



情報システム学科 教授
岸野 清孝

DVDなどの機器を使用して各種メ
ディアの情報を利用できます。
また、インターネットにより新聞
記事や会社の情報、世界各国で発行

だけではなく、パソコン、VTR、
DVDなどの機器を使用して各種メ
ディアの情報を利用できます。
ターケーでは、情

寄せることが可能ですが。
大学では、授業に出席して知識を
得ることが重要ですが、単に受動的
に先生から教えてもらうだけでは駄
目です。自主的にインターネットと

や本質的確に捉えて対処していく
「問題発見能力」と「問題解決能力」
を備えることです。

これはインターネットで調べた情
報と一夜漬けでは身に付くものでは
なく、日々本を読み、考えることの
積み重ねによる脳内への蓄積が効果
を發揮し、備わっていくのです。い
わば「将来的自分の投資」といえ
ます。この能力を得るために、情報
センターが大きいにお役に立てるこ
とを期待します。

理運営しています。コンピューター
室には約400台のパソコンが設置
されており、100Mbpsの通信
速度でインターネットに接続されて
います。図書館では書籍を閲覧する

将来の自分へ投資しよう

された文献などの検索が簡単にでき
ます。館内の蔵書(2008年3月
末現在約9万5870冊)はパソコ
ンで検索することができ、本学にな
い文献や資料は他の図書館から取り

本や論文などにより情報を収集し、
問題を発見し、自分で解決策を考え
ることが要求されます。つまり、複
雑に絡み合った諸事情の中から、物
事のあるいは直面する問題の、実態

湧源 ゆうげん
編集後記に代えて

広報委員長 澤口 晋一

4月20日から
国際交流フェア

“留学”の成果を披露

28日からは新潟中央キャンパスでも



新年度当初の恒例行事となつ

ている「国際交流フェア」が、4月20日から本校・国際交流センターで、28日から5月15日までは新潟市中心街の新潟中央キャンパスで開催されます。

本学の語学研修カリキュラム

の柱となつて開催されるフェアで、提携大学のあるロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダの5カ国での貴重な経験や、交流や勉学の成果、思い出の品々や写真、提携大学の紹介パネルなどが展示されます。

本校では25日まで学生ホールで、学生によるパフォーマンスが日替わりで披露されます。このフェアを通じて、本学の国際交流活動を仲間の学生や広く地域の人たちに知つていただき、新潟と各国との国際交流の輪がいつそう広がってほしいと願っています。

(写真は昨年のフェアのスナップ)

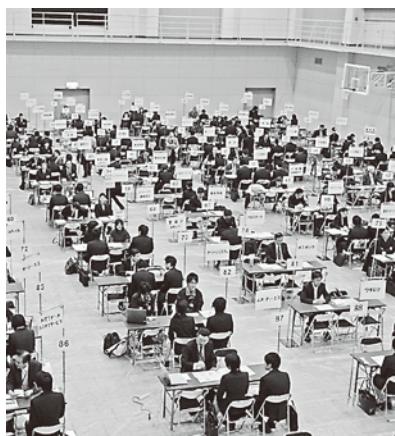


平成20年度卒業生

主な就職先一覧

アークランドサービス(株)	(株)サンケイ情報ファシリティ	(株)トラステック	(株)博進堂
アークランドサカモト(株)	(株)サンソウシステムズ	鳥忠 本店	原信ナルスホールディングスグループ
(株)アイエックスときわテクノロジー	CEC新潟情報サービス(株)	(株)新潟オービックシステムエンジニアリング	はるやま商事(株)
(株)AOKIホールディングス	(株)シーキューブ	(株)新潟クボタ	(株)BSNアイネット
(株)アクティオ	JA越後さんとう	(株)新潟グランドホテル	東日本旅客鉄道(株)
味の素システムテクノ(株)	JA越後中央	新潟県 警察行政	(株)ピコイ
(株)アミリ	JA越後ながおか	新潟県花卉球根農業協同組合	(株)ピット・エイ
(株)飯田設計	JA(こいがた)南蒲	新潟県警察	(株)ピップ
(株)イーピーエム	JA新潟みらい	新潟県農業組合	藤木鉄工(株)
(株)岩波不動産	(株)ジェイテック	(株)新潟農協電算センター	藤田金属(株)
(株)ウオロク	シマト工業(株)	(株)新潟ケンペイ	ブリヂストンタイヤ新潟販売(株)
(株)エスエフシー新潟	清水工業(株)	新潟県民共済生活協同組合	(株)文武堂
NECソフト(株)	(株)ジャパンネット	新潟県労働金庫	(株)北越ケーズ
(株)NS・コンピュータサービス	シリウスグループ	新潟交通(株)	北越工業(株)
(株)エヌサイト	信越ペプシコーラ販売(株)	新潟市 消防	(株)北都
NTTデータカスタマサービス(株)	シンコール(株)	新潟酒販(株)	(株)ポストシステムズ
(株)エヌ・ティ・エス	(株)すかいらーく	新潟スパル自動車(株)	(株)ホテルオーラ新潟
(株)エヌ・ティ・ディ エムイー	(株)スズキ自販新潟	新潟綜合警備保障(株)	(株)ホテル清風苑
大野精工(株)	(株)スペースアルファーシステム	新潟大栄信用組合	(株)マックス
(株)オズボック	セコム上信越(株)	新潟ダイヤモンド電子(株)	(株)マルス
医療法人社団小柳医院 老人保健施設	(株)セントラル情報センター	新潟中央ホーム(株)	(株)丸山自動車
栄業	(株)総研システムズ	新潟トヨタ自動車(株)	(株)マンションセンター
カズ美食品(株)	双峰システム開発(株)	新潟トヨペット(株)	(株)三城(メガネ・バリミキ)
鶴田製菓(株)	ソーラーホテレスアンドリゾーツ(株)	新潟日産モーター(株)	ミサワホームイング新潟(株)
加茂信用金庫	(株)ソリマチ技研	新ニイガタマシンテクノ	(株)ミタカ
関東信銀国税局	(株)大建建設	新潟名鉄(株)	二星金属工業(株)
(株)キタカタ	(株)大光銀行	新潟ヨコハマタイヤ(株)	源川医科器械(株)
キヤノンシステムアンドサポート(株)	(株)第四銀行	新潟読売インフォメーションサービス	(有)みやけ食品
(株)キヨーピット	太陽信用組合	日本プリント新潟販売(株)	株)富崎商店(富寿しグループ)
協栄信用組合	(株)高儀	日通商事(株)	村上信用金庫
(株)協振技建	高野ガス(株)	(株)ニッパンレンタル	(株)メビウス
(株)クスリのオオキ	(株)タクヨシ	日本精機(株)	森井紙器工業(株)
警視庁	タクトシステムズ(株)	日本通運(株)	(株)ヤマダ電機
警視庁	ダムスクループ	日本郵政グループ	(株)吉連堂
(株)ココスジャパン	中越クリーンサービス(株)	日本トイザラス(株)	(株)よねー
(株)コダマ	中越通運(株)	日本ビジネス・サポート	(株)ラネクシー
コニカミノルタNC(株)	(株)ディーアンドエムホールディングス	日本ペアリング(株)	(株)リオン・ドールコーポレーション
(株)コロナ	東京コンピュータサービス(株)	(株)ニューアーサビ	(株)リンクコーポレーション
コンピュートロン(株)	東芝ホームテクノ(株)	株)ニューメディア総研	(株)レックス
(株)サイゼリヤ	TOTO新潟販売(株)	ネットコヨタ越後(株)	(株)シリアン
サイバーコム(株)	(株)トッキー	ハーハードオフコーポレーション	(株)渡辺製作所
(株)サカイ引越センター	(株)トップカルチャー	ハイテクシステム(株)	
社会福祉法人坂井輪会 穂波の里	トヨタ部品新潟共販(株)		

就職戦線 来春の就職に向け 学内で合同企業説明会



(写真は熱気に包まれた会場スナップ)

就職活動の本番に向け、まずは好調なスタートとなりました。

県内外から197社が参加

恒例の学内を会場にした合同企業説明会が2月18、19の両日、本校体育館で開かれました。暖冬が一変した雪模様となりましたが、県内外の197社の人事担当者の参加をいただき、厳しい景気動向を背景にして熱気ある雰囲気となりました。

種別	取得した資格	人数
I種	TOEIC 730点	3人
	ロシア語（ロシア語能力検定試験）2級	1人
	中国語（中国語検定試験）2級	1人
	韓国語（韓国語能力試験）5級	1人
	ファイナンシャルプランナー 2級	2人
II種	基本情報技術者（旧2種）	6人
	初級システムアドミニストレータ	4人
	中国語検定 3級	10人
	日商簿記 2級	1人
	TOEIC 600点	4人
	ロシア語（ロシア語能力検定試験）3級	1人
	韓国語（韓国語能力試験）4級	1人
	インターネット検定シングルスター	1人
	秘書技能検定 2級	10人
	CGエンジニア検定 2級	1人

試験に挑戦する学生を支援し、大学が指定した各種資格検定試験に合格した学生には奨学金を給付しています。難度の高いI種（5万円授与）には語学能力検定やファイナンシャルプランナーなど8人、II種（社会的評価に値するもの2万円授与）には語学のほか情報処理関係、簿記、秘書技能検定などで39人に奨学金が授与されました。取得した資格の内容は表のとおりです。

資格取得奨励奨学金

I種8人、II種39人に授与



資格取得を奨励する奨学金の平成20年度の授与式が1月13日、本校で行われ47人の学生に平山学長から奨学金が授与されました。

高校生はじめどなたでもご参加できます！

OPEN・CAMPUS 2009 オープンキャンパス

開催日 1回目 7/19日 2回目 8/9日 3回目 10/4日
AM10:00～PM3:30

会場 新潟国際情報大学 本校 新潟市西区みずき野3-1-1
(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

- 学科およびカリキュラム説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- コンピュータ実習
- 語学体験
- 個別入試相談
- 就職相談
- 海外留学相談
- 学生との懇談
- 学内見学
- 保護者向けプログラム



※変更となる場合もありますので事前にご確認ください。

参加お申込み

高校の進路指導の先生、
もしくは右記までお申込みください。

お問い合わせ先
新潟国際情報大学 広報係

〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
TEL025-239-3111 FAX025-239-3690
E-mail soudan@nuiis.ac.jp

平成22年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続き期間
推薦入学試験	高校長推薦指定校制	情報文化学科 10 情報システム学科 20	30	21年11月 2日(月) 11月10日(火)	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います	21年11月19日(木)	21年11月19日(木) 12月 3日(木)
	高校長推薦公募制	情報文化学科 30 情報システム学科 35	65		面接・小論文 学力推薦要件：全体の評定平均値3.8以上またはいずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること		
	高校長推薦スポーツ	情報文化学科 情報システム学科	若干名		面接・小論文 対象種目については、募集要項で確認してください		
	社会人入学試験	情報文化学科 情報システム学科	若干名	21年11月15日(日)	面接・小論文		
一般入学試験	前期	情報文化学科 35 情報システム学科 60	95	22年 1月 5日(火) 1月21日(木)	新潟長岡上越	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学I・数学II (数学IIは、微分・積分を除く) ・外国語:英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	22年 2月 6日(土) 2月16日(火)
	大学入試センター試験利用	情報文化学科 15 情報システム学科 20	35	22年 1月29日(金) 2月15日(月)	22年1月16日(土)、17(日) の大学入試センター試験を受験していること	学科試験を課さず、平成22年度の大学入試センター試験の成績で判定、全教科の中から2教科2科目選択 配点:各教科100点 (3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む。)	22年 2月20日(土) 3月 9日(火)
	後期	情報文化学科 10 情報システム学科 15	25	22年 2月15日(月) 3月 2日(火)	22年 3月 9日(火)	新潟	・国語:国語総合(現代文)・現代文 ・数学:数学I・数学II (数学IIは、微分・積分を除く) ・外国語:英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択

本学独自の奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(前期入試受験者対象)授業料全額又は1/2
- 表彰奨学金(2~4年生対象)10万円~30万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象)15万円~23万円
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象)I種5万円、II種2万円
- 学費臨時給付奨学金(全学年対象)授業料・施設設備費の当該期分全額又は1/2
- 学費奨学融資制度奨学金(3~4年生対象)借入利息相当額

○入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせください。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nuiis.ac.jp

学生生活が終わ
り、社会へ羽ばたく
時が来ました。私は
4月から機械メーカ
ーで営業職に就きま
す。今は世界
同時不況とい
われていて、
大変な時代に
社会へ出てい
くことになりま
すが、長い社
会人生活の土
台を築くため
のいい試練と考
えて、仕事に
励んでいきま
す。

また、「毎日
が挑戦である」
と考え、成功
も失敗も次の
成功につなげ
ていきたいと考えて
います。そして、私
の就職する会社は、
海外へ製品を輸出し
ているので、将来は
海外でも活躍できる

現在までの自分を振り返ると、ある程度う
まくやつてきた。それは客観的ではなく主觀
的に。そして、あまり人がやらないことも好
奇心をもつて行動に移すこともあった。
具体的にいえば、ヒッチハイクを一人でや
つたこと。目標は九州の博
多。理由はく
だらない、長

挑戦することを

渕谷 貴之

情報システム学科

4年間という
時間はあつと
いう間に過ぎ
去ります。で
すから、一日
一日を有意義
に過ごしてく
ださい。そう
すれば数年後
に社会へ羽ば
たく時、後悔
することなく
希望を持つて
新たなスター
トラインに立
つことができ
ます。

最後に、新
潟国際情報大学のさ
らなる発展を願つて
います。4年間本当
にありがとうございました。

今までの学生生活を振り返ると、教養を身に付けることのできた授業や、社会の風を感じることのできたアルバイト先での経験、そして学業の集大成でありさまざまな壁が立ちはだかつた卒業論文、自ら考え行動するこの大切さを学んだ就職活動など、刺激と出会いに満ちた大学生活でした。

時に悩み、思案に暮れることもありました。が、こうした経験の積み重ねこそが今後の人生に役に立つものだと思います。4月からは社会人の仲間入りをすることになりました。

これから仕事が始まる。そして、「責任」という大きな2文字が私にプレッシャーをかけ、逆にその2文字が私をワクワクさせます。今後は自分に厳しくして、自分を成長させたいかなければ、いつクビになるかわからない。そんな厳しい状況で、今までに得た経験がいかに通用しないのかが楽しみである。失敗から多くを学ぶので、挑戦することを恐れず、前向きに生きていく。

人生を充実したものにつくり上げ、そして私は幸せになる。

「卒業にあたって」学んだこと・今後の抱負

私の大学生活の始まりは不安ばかりでした。しかし、本学で学んだ学問を通して、「知ること」の喜びを実感できたことが、徐々に自信へと変わったからです。

本学で学んだ重要なことを総括的に述べれば、それは世の中のすべてが自分と何らかのかかわりを持つていてということです。残念ですが、政治や経済、また環境面などで不利な立場に立たされている人々が多く存在しています。私たちの生活空間からは見えない「眞実」を知ることが、とても大切なことだと痛感します。

「人生って難しい。そして楽しい」——大学生活の中で、私がよく思つたことです。アメリカ留学で、慣れない日々を経験しました。つらい時を過ごしました。一方で、さまざまの人との出会いがあり、初めての体験することも数々ありました。これらの経験は、私の人生に大きな転機を与えてくれました。出会った人々から、たくさんの中でも受けたこと、それまでの自分の考え方や行動が大きく変わつていきました。

こうした経験を通して、これまでの自分の考え方や行動が大きく変わつていきました。

「知ること」の中のすべてが自分と何らかのかかわりを持つていてということです。残念ですが、政治や経済、また環境面などで不利な立場に立たされている人々が多く存在しています。私たちの生活空間からは見えない「眞実」を知ることが、とても大切なことだと痛感します。

「人生って難しい。そして楽しい」——大学生活の中で、私がよく思つたことです。アメリカ留学で、慣れない日々を経験しました。つらい時を過ごしました。一方で、さまざまの人との出会いがあり、初めての体験することも数々ありました。これらの経験は、私の人生に大きな転機を与えてくれました。出会った人々から、たくさんの中でも受けたこと、それまでの自分の考え方や行動が大きく変わつていきました。

こうした経験を通して、これまでの自分の考え方や行動が大きく変わつていきました。

「知ること」の

アメリカ留学が大きな転機

情報文化学科 石塚 武志

信頼される人になることの大切さを忘れないでほしいのです。どうか、「人間として生きるには何が一番大切か」をいつも自問自答してください。そこからなくなったら空を見上げてください。そこには雲が悠々と流れ、皆さんに語りかけています。競争社会はストレス社会です。心身の健康と社会人としてもうひとつ自己管理しなければならないことがあります。それは心身の健康管理です。精神の安定、健康を保つには強い信念と課題を乗り切る確かな問題解決能力が大切です。このことは最初に申し上げました。申し上げた3つのことがお互いに関連し、相乗効果として皆さん的人生を支えてくれるはずです。どうか大きな希望の横に今申し上げた「生き方の道しるべ」を置いて、時々のぞいてください。皆さんの前途は洋々です。でも船を運航するキャプテンは皆さん自

言つたのは現代人の弱点が精神の健康にあるからです。精神の安定、健康を保つには強い信念と課題を乗り切る確かな問題解決能力が大切です。このことは最初に申し上げました。申し上げた3つのことがお互いに関連し、相乗効果として皆さん的人生を支えてくれるはずです。どうか大きな希望の横に今申し上げた「生き方の道しるべ」を置いて、時々のぞいてください。皆さんの前途は洋々です。でも船を運航するキャプテンは皆さん自

卒業生答辞



情報システム学科（総代）

関根 肇

広い視野を身に付け成長 社会に貢献できる人間に

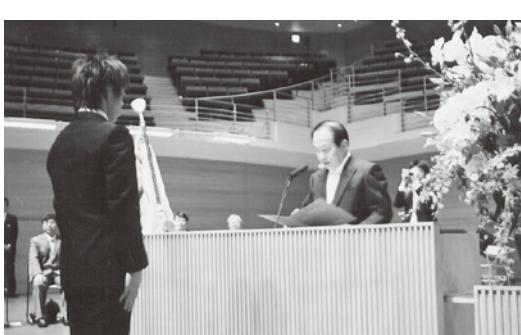
寒い冬もようやく終わりを迎え、新しい季節が到来する時期となりました。キャンパスにも暖かい風が吹き込まれ、生物が躍動を始めるのを目にして、今年も、私たちに一つの節目と新しい生活の始まりを告げるために、春が息吹き始めたことを実感しています。

本日は私たち卒業生のために、このような盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。また、ご来賓の皆様、並びに関係者の皆様におかれましては、ご多忙の中ご出席していただき、心より御礼申し上げます。本日、私を含め281名が卒業することとなりました。

身です。舵をしつかり握って、目標を見定め、明日から大海原に船出してください。

本学の卒業生として、これからも大学に愛着を持つてください。そしてこれからは先輩として後輩への温かい支援をお願いします。四季のはつりしている新潟では、浅い春の訪れは、旅立つの時、別れの時もあります。でも皆さんとの別れから暫くして大学の校庭に桜が咲き乱れる頃には、皆さんの後輩が入学してきます。親から子へ、先輩から後輩へ、色々なバトンタッチで世の中は続いている。地域社会の良き後継者としてふるさと新潟にも貢献ください。そのため社会人としてだけでなく、地域人としてのバトンタッチにも心がけてください。そして皆さんのが故郷の発展にも活躍くださいことを期待したいと思います。

皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げますとともに、前途幸多きことをお祈りし、私の皆さんとの門出にあたっての贈る言葉とします。



平成20年度 JABEE認定プログラム

日本技術者教育認定機構(JABEE)の情報システム技術プログラムの修了証授与式が3月19日午前、卒業式に先立って新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)コンサートホールで行われました。平成20年度の修了者は21人で、当日出席した19人に修了証書が平山学長から授与されました。

21人が修了証書を取得

本学は同認定制度を前年度に国内29番目、県内では初めて取得、情報システム学科の27人の学生が認定プログラムの修了証書を取得しています。

修了生は、文部科学省令で定める技術士資格1次試験免除の優遇措置が受けられ、「将来情報システムを開発する技術者になるために必要な教育を受けている」という、社会的な評価が与えられます。

次第にそれぞれの講義の内容がパズルのピースのよう組み合わさり、私は情報システムの世界を開いてくれました。

大学では、情報システムを構築するために必要な技術にとどまらず、経営や統計・語学も併せて

学ぶことで、多角的に物事を考える視点と一つの

分野に捉われない広い視野を身につけることがで

きました。それを生かし、ゼミに配属された後は、

機械的な機能にとらわれず、オンラインショッピングと人間のコミュニケーションの結びつきを考

え、卒業研究として昇華させました。また、学問

にとどまらず、勉強に対する姿勢やエンジニアと

しての考え方など、人生について多くのことを

学びました。講義で学び、演習で実践し、ゼミで

深めるという中で、私自身、大きく成長したと思

います。

今日を節目に、私たちはまた新しい道にそれぞれ歩んでいきます。その道は決して平坦なものばかりではないですが、大学4年間で学んだ知識、

得た経験を生かし、再び自分の新しい目標に向かって突き進んでいきます。そして、新潟国際情報大学の卒業生であることに誇りを持ち社会に貢献できる人間を目指して、さらなる学習と修練を積んで参ります。

最後に、熱意のこもった指導により、多くの教養と専門的知識・技術を私たちに授け、その可能性を広げてくださった先生方、日々の大学生活から講義やゼミを通して熱心にご指導・ご教示をいただき、国際化・情報化の現代に必要な専門的知識を幅広く身に付けることができました。また、多くの人々の支えがあつたことで、私たちは有意義で充実した4年間を送り、かけがえのない成長の礎を築きました。

私は、情報システム学科にて、4年間勉強して参りました。中学生のときに、初めてコンピューターに触れました。それ以来ずっと興味を持ち続けた私は、高校で進路選択の岐路に立たされたとき、新潟国際情報大学でもっと情報について学びたいと思い、受験・入学しました。大学ではコンピューターという狭い枠組みではなく、情報システムというはるかに大きな枠組みでの勉強が待っていました。当初は学ぶことがすべて新しいことばかりで、理解することに必死でした。しかし、先生方の机上の理論に終わらない実際を伴つた講義はとても興味・関心をそそり、気づいたときは心を躍らせながら夢中になっていました。そして、

祝電

新潟県知事

新潟市長
日本私立大学協会会長

上越教育大学学長
長岡技術科学大学学長

新潟産業大学学長
篠田 大沼 渡邉 小島 上山 广川 俊男

泉田 裕彦
昭和 阳淳

篠田 大沼 渡邉 小島 上山 广川 俊男

新潟綜合警備保障株
代表取締役社長

株三越新潟店店長
代表取締役社長

株木テル清風苑 代表取締役
新潟日産モーターリース
代表取締役社長

相原 貞則
樋口 清

廣田 幹人
福井 文弘

小島 和夫
上山 良子

遠藤 佳彦

大沼 昭
渡邉 隆淳

廣田 幹人
福井 文弘

小島 和夫
上山 良子

“大いなる人になれ” 281人が船出

平成20年度 卒業生おめでとう

平成20年度第12回卒業式が3月19日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）コンサートホールで行われ、281人（情報文化学科114人、情報システム学科167人）の卒業生が大きな希望を胸に社会に巣立って行きました。

式典はまず学位記授与から始まり、晴れがましく卒業生一人ひとりが名前を呼ばれ、両学科代表に賞状と記念品が平山征夫学長から贈られました。平山学長は告辞で「みずき野のキャンパスで学んだことをベースに、自主自立して物事の本質を見極め信頼される社会人になってほしい。心広く愛情いっぱい人に優しい“大いなる人”になれ。キャブテンは皆さん自身です。自信を持って大海原に船出してください」と前途を祝福しました。

これに対し、卒業生を代表して情報システム学科の関根毅さんが「国際化情報化の現代に必要な専門的な知識を身に付け、人生についても多くを学び成長することができた。新しい目標に向かって突き進み、社会に貢献したいと思います」と力強く答辞を述べました。

最後に吹奏楽部の演奏で校歌「空がある風がある光がある」を卒業生と、壇上では平山学長自らも合唱団に加わり教職員も一緒に輪になって合唱し、温かい大きな拍手のうちに記念式典を終了しました。

恒例の祝賀会が同日夕、ANAクラウンホテル新潟で開かれました。晴れの装いで笑顔いっぱいの卒業生たち。ゼミの教職員などを取り囲んで握手と乾杯を繰り返し、互いに門出を祝い将来の活躍を激励し合いました。



第12回までの卒業生は合計3,532人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第 1回)	295人	116人	179人
10年度(第 2回)	290人	124人	166人
11年度(第 3回)	303人	126人	177人
12年度(第 4回)	294人	114人	180人
13年度(第 5回)	291人	118人	173人
14年度(第 6回)	277人	111人	166人
15年度(第 7回)	314人	118人	196人
16年度(第 8回)	294人	115人	179人
17年度(第 9回)	299人	121人	178人
18年度(第 10回)	278人	110人	168人
19年度(第 11回)	312人	126人	186人
20年度(第 12回)	285人	117人	168人
合 計	3,532人	1,416人	2,116人

※9月卒業生含む

学長賞（学業成績優秀者）	平成20年度	卒業生特別表彰
情報文化学科	滝沢 亮太	情報システム学科（総代） 関根 毅
情報文化学科	玉井奈緒美	情報文化学科 玉井奈緒美
学術賞		
情報文化学科	田中 由美（代表）	中国語検定試験2級（本学資格取得）得奨励奨学生基準第1種該当
情報文化学科	藤田 純子	合格。編入学生への中国語授業補習を実施。紅翔祭で中国語劇発表のためのリーダー的役割を果たした。
課外活動賞	石塚 武志	◆エコサークル NUI-SE
情報文化学科	細田千佳子	エコサークルNUI-SEを立ち上げ、過去10年間の本学の電気使用量などを調査分析し、それを紅翔祭などで一般の方や学生たちに報告した。また、本学学生の環境意識調査などを実施した。
情報文化学科	猪俣 慧子	
国際交流賞	石塚 武志	
情報システム学科	眞輪 健太	
情報システム学科	長瀬 聰	
国際交流賞	眞輪 健太	
情報文化学科	石塚 武志（代表）	

国際交流インストラクターとしての活動をきっかけとして、本学での授業や課外活動を通じて身につけた国際社会に関する知識を活かして、県国際交流協会や新潟国際ボランティアセンターをはじめとして、新潟県の国際交流に関連する諸組織の活動に積極的に参加することで、県の国際交流の活性化に寄与した。

深刻化する地球環境問題を自分の問題と捉え、大学のエコキャンパス化を目指すエコサークルNUI-SEを立ち上げ、過去10年間の本学の電気使用量などを調査分析し、それを紅翔祭などで一般の方や学生たちに報告した。また、本学学生の環境意識調査などを実施した。